

## 平成23年度名古屋大学入学試験を実施

平成23年度名古屋大学入学試験（前期日程）が、2月25日（金）、26日（土）の2日間、東山地区及び大幸地区の2地区の試験場で行われ、合計1,708名の募集人員に対し、5,360名の出願がありました。

試験当日は、あいにくの雨模様でしたが、朝早くから豊田講堂前庭や附属図書館前のグリーンベルト周辺に受験者



試験会場の様子

が集まり、引率教師からの試験前の注意事項に耳を傾け本番に備えていました。

また、受験票を手に緊張した面持ちで試験会場を確認している受験者に対し、試験会場を案内する職員や学生の姿があちらこちらで見られました。

1日目は、午前10時から外国語の試験が全学部において一斉に始まり、5,090名の受験者が試験問題に取り組みました。午後には理科、地理歴史、小論文の試験が行われ、濱口総長、高橋事務局長が各試験場を訪れ、試験場主任や試験場本部の教職員を激励しました。

2日目には午前10時から数学の試験が、午後には国語の試験が行われ、午後3時55分にすべての試験が終了し、試験を終えた受験者はお互いに試験問題について話し合うなどして、家路につきました。

なお、同試験の合格発表が、3月9日（水）午前11時から豊田講堂において行われました。

また、後期日程試験は、3月12日（土）に医学部鶴舞キャンパスにおいて実施され、合格発表は23日（水）午前10時に、同じく鶴舞キャンパスにおいて行われます。

## 第66、67回防災アカデミーを開催

第66、67回防災アカデミーが、1月19日（水）、2月10日（木）、環境総合館レクチャーホールにおいて開催されました。

第66回では、桜井誠一神戸市役所代表監査委員が「私の体験的危機管理～阪神・淡路大震災と新型インフルエンザ広報体験から～」と題した講演を行いました。桜井代表監査委員は、阪神・淡路大震災や2009年の新型インフルエン



第66回防災アカデミーの様子

ザ流行など、危機的な状況下で陣頭指揮を執ってきた体験をもとに、行政の立場からマスコミや市民への対応の鉄則や、あるべき対応の姿について説明しました。

第67回では、船木伸江神戸学院大学講師が「阪神・淡路大震災を語り継ぐ 震災の直接経験を持たない学生達のチャレンジ」と題した講演を行いました。船木講師は、自身が所属する防災・社会貢献ユニットで学部学生の震災プロジェクトへの取り組みをコーディネートし、震災経験を持たない学生達の防災活動を紹介しました。今回は、実際に活動を続けている同大学の学部学生である稲田靖子さん、大橋一徳さんが、学生の視点を持った柔軟な防災教育を通して、実施者側としての「学び」だけでなく、受け手側から得られる「学び」について紹介しました。

船木講師は「震災の直接体験を持たない子ども達が大人になり、大学生として当時を学ぶことで伝承の担い手になれる」ことを強調しました。

第66回は97名、第67回は88名の参加がありました。それぞれ身近な防災の課題として多くの関心を集め、熱心な質疑応答が行われました。